

親 師 会 報

第 152 号

発行
新潟県立新津高等学校
親 師 会
☎0250(22)1920

会 長 挨 拶

親師会長 石 本 岳



本年度、新津高校親師会長を務めます石本岳です。私と新津高校との関わりは遡ることおよそ30年、当時中学生で陸上競技をしていましたが、市内（旧新津市）の合同練習会で新津高校のグラウンドを訪れて以来ということでもあります。心許ない会長ではありますが、皆様のご協力のもと精一杯努めて参りますので、どうぞよろしくおねがいします。

さて、新型コロナウイルス感染症による様々な活動制限も緩和され、学校行事等も以前のような形で実施される場面も増えてきました。先日の体育祭も保護者が観覧できるという形で実施されました。青空のもと活き活きと躍動する生徒達、陰に陽に支える先生方、それを見守るたくさんの保護者の方々。とても素晴らしい時間、景色だと印象に残りました。これからもそのような時間が増えていくことを切に願っております。

もちろん、「以前の状態に戻す」ことが正義であるとは限りません。「変化こそ常態」であることを常に意識しながらその変化をどう捉え、どう評価し、どう対応していくのかということ、いつでも私たちに問われている課題だと思っています。徒に変わっていくことが、頑なに変えないでいくことが、果たして本当に必要なことなのか。何のために、誰のためになるのかをいつでも原点に立ち返って問いかけていくことが肝要であると思っています。

新津高校親師会の活動も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、この3年間は思うような活動ができなかったと聞いております。会員の皆様にはできる時にできる範囲でぜひとも参加していただければと思っております。活動制限が緩和された今こそ、より一層先生方と連携を取りながら、生徒一人一人が充実した学校生活を送れるよう親師会も活動していきたいと思っております。今年度もよろしくおねがいいたします。

校 長 挨 拶

校長 小 林 英 明



保護者の皆様には日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。今年度はコロナ禍での制限がなくなり、学校行事等も制約なくできるようになってきました。親師会の活動も、いろいろ工夫しながら子どもたちを応援できるように、一層充実を図ればよいと考えています。なにとぞご協力をお願いいたします。

今春の卒業生の進路状況がまとまりました。国公立大学については、延べ73名の生徒が合格しました。京都大学、東北大学、筑波大学などの難関校にも合格し、健闘してくれました。私立大学については、延べ418名が合格しました。卒業生が次のステージで活躍してくれることを期待するとともに、後に続く在校生も粘り強く努力を積み重ねてほしいと思います。

さて、最近ではSociety5.0時代が到来しつつあると言われております。人工知能（AI）、ビッグデータ、Internet of Things（IoT）、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方が劇的に変わる時代です。また、先行きが不透明で予測困難な時代でもあります。そのような背景もあって、令和3年1月には、文部科学省の中央教育審議会が、「令和の日本型学校教育の構築を目指して」という答申を取りまとめました。

この令和答申では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現が目指されています。「個別最適な学び」では、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会や、子どもが自らの学習状況を把握し、主体的に学習を調整していくことなどが重要です。「協働的な学び」では、探究的な学習や体験活動等を通じ、子ども同士で、あるいは多様な他者と協働しながら学ぶことが重要です。一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出すことができます。

本校でも、ICTの活用が進んだり、「三菱みらい育成財団」の助成を受けて探究学習「Climb Up プラン」の取組が進んだりしてきました。また、新学習指導要領が実施されて2年目となり、学びの改善や学習評価の改善も進んできています。これらの取組が、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に結びつくように、学校としましても、コロナ禍で培ったノウハウと、リアルな体験を通じた学びをうまく組み合わせたいと考えています。そして、生徒たちが豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることを期待しています。

結びになりますが、生徒たちのよりよい成長のためには、家庭、学校、地域の密接な連携が重要です。保護者の皆様と手を取り合いながら、生徒一人一人の学校生活の充実と進路実現のために、職員一同、精一杯取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

進路指導室より

進路指導主事 石澤 佳代

はじめに

新津高校では、週に1時間の総合的な探究の時間があり、自分たちで課題設定し研究に取り組んでいます。昨年は、調査のために学校外へ出て、関係機関を訪ねたり、街頭に出て取材をしたりするグループがありました。今年は、少し早めに探究がスタートしています。是非、夏休みの期間を使って生徒一人ひとりが自分事として、学校外での探究を深めて欲しいと思っています。

夏休み中の学習の重要性

夏休みに気をつけたいのは、朝起きる時間があるときと同じようにすることです。1日のタイムスケジュールを習慣化し、イレギュラーな活動に気持ちを揺るがさずに行動することで、時間を有効に使うことができます。いつもの時間に起きて、日中の学習時間を固定し、夜遅くまで起きる夜型にならないよう気をつけましょう。学習場所は、部活後や夏期講習後に、学校の自習室や近所の図書館を利用するというのも良いです。

高校3年生は、夏休みをどう過ごすかによって合否が決まるとよく言われます。ほんの少ししか勉強しないで合格できるほど大学受験は甘くありません。まだ部活が続いている人は、質の高い学習を行うことでカバーしていきましょう。

夏季休業中の目標

例えば、「毎日必ず一度は英語のテキストを開く」「1学期につまづいた点を見直す」などの目標を設定してみてください。2年生は1年生の時の振り返りを、1年生は中学で習ってきたことの振り返りを行えるチャンスです。また、「新聞に毎日、目を通す」「様々な分野の本を読む」など、普段新聞や本を読む習慣がない人も、自分が興味を持てる本などを選び、読書を楽しんでほしいです。受験制度がめまぐるしく変化し、多様化するなかで、どの分野でも問題文が長くなり内容も多岐に渡っています。読解力や多角的な視野が必要になってきています。多くの文章に向き合うことで受験の基礎力が身につくと思います。

オープンキャンパスの活用

オープンキャンパスは大学等が高校生やその保護者向けにキャンパスを開放して行うイベントです。オープンキャンパスをきっかけに具体的な進路が見えてきたり、学習に対する意欲が増してきたりすることが多いようです。今年のオープンキャンパスは、来場型の開催にもどりつつありますが、感染予防対策のため、予約が必要な所が多いようです。参加の際は事前に各大学のホームページなどで確認してください。なお、オープンキャンパスでは、大学や入試の説明、過去問題集の配布、入試の仕組みや学費、奨学金制度、就職支援

などの取り組みの説明などを個別に対応してくれるコーナーもあります。また、模擬授業や体験実習などもあり、学問の面白さを体験でき、大学での勉強のイメージがつかめます。

7月の期末考査後に進路アンケートを実施しましたが、具体的な進路希望が描けない人もいます。夏季休業中を利用して、ご家庭内でも、進路について考える機会を設けて頂きたいと思います。

3年生へのメッセージ

3年生は、弱点分野の克服が最重要課題です。と言っても、長いように思える夏休み期間には限りがあり、一方、取り組むべきことは無限にあります。しっかりと計画を練った上で、取り組んでください。各大学の募集要項は5月～6月頃に発表されています。ホームページを検索すると入手することができますが、志望校の募集要項は、必ず印刷をして入試日程や選考科目などのチェックをおこなってください。また、赤本などを利用して、過去問にも取り組んでおきましょう。

総合型選抜や学校推薦型での出願を考えている人は、志望理由書などの早めの準備が必要です。特に、総合型選抜の出願は9月1日から始まります。三者面談も予定され、担任による意思確認が行われていると思いますが、志望する学校のホームページ等をこまめにチェックするなど、選抜方法の確認を行ってください。

保護者の方へ

保護者版の進路の手引きが発行され、生徒を通じてあるいは保護者懇談等でお手元に届くよう配布いたしました。各学年での取り組みや、入試制度、先輩からのメッセージ、奨学金制度、昨年度の入試結果などの情報が盛り込まれています。これまでも、3年生になると多くの生徒が、進路に関して保護者に相談に乗ってもらったことが大きな力になったと答えています。学校でも進路相談や進路ガイダンスを行っていますが、「好きにしない」「自分で決めなさい」ではなく、進路に関してある程度の知識を持った上で、経済面やお子さんの現状等を考慮して、話し合いの場を設けていただけるようお願いいたします。

さいごに

長いようで短い夏休み、最初から計画を立ててもその通りいかないとあきらめるのではなく、自分自身を振り返る意味も持たせながら、大まかで良いので計画を立てて実行し、その振り返りをしてみてください。計画通り行かなければ修正をして、自分自身をコントロールできるようになりましょう。ぜひ、沢山の本を読み、時には、友人と語り、充実した夏を過ごして欲しいと思います。

編集 後記

4月6日(木)、新任の教職員の方々と新入生を迎え、102年目の新津高校がスタートしました。新型コロナウイルスによる規制が緩和された中で行われた体育祭では、昨年度まで実施が困難だった騎馬戦が追加され、また多くの保護者の皆様にご来校、ご観覧頂いたこともあって大いに盛り上がる結果となりました。生徒にとっても、かけがえのない高校時代の思い出を仲間と共有できたことと思います。

原稿をお寄せ頂いた方々、撮影に協力して頂いた方々、誠にありがとうございました。この会報がご家庭での会話の話題や、会員相互の交流が深まる契機になれば幸いです。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。